

# 認知症の症状とケアの流れ（ケアパス）

R7.4.1

認知症は少しづつ進行し、症状が変化していきます。家族や周囲が認知症を理解し、進行に合わせて対応していくことが大切です。

## もの忘れが気になる（発症する）時期

|      |  |  |
|------|--|--|
| 本人   | <ul style="list-style-type: none"><li>物忘れがみられ、人や物の名前が思い出せない</li><li>会話の中で「あれ」「それ」「あの人」など代名詞が増える</li><li>積極性がなくなり人と付き合いや趣味・習い事などから足が遠のく、理由をつけて休もうとする</li></ul> <p><b>軽度認知障害(MCI)</b></p> <p>認知症の前段階で、軽い記憶障害があっても大きな支障なく日常生活を送れる状態です。この段階で発見して適切に対処すれば、特にアルツハイマー型認知症への移行を予防、または先取りできるといわれています。ちょっとしたサインを見逃さないようにしましょう。</p> |  |
|      | <ul style="list-style-type: none"><li>本人が、規則正しい生活を送り、家庭内で役割をもち、地域行事やボランティアなどの社会参加ができるよう支援する。</li><li>「おかしい」「いつもと違う」と思った時には早めにかかりつけ医や地域包括支援センターに相談する。</li></ul> <p><b>本人の不安を和らげる</b></p> <p>本人には次第にできないことが増えていくという、いらだちや不安があります。そんな気持ちを穏やかに保てるように、家族など周囲の人が上手にサポートしましょう。</p>  |  |
| 家族   | 予防   | <ul style="list-style-type: none"><li>○地区健康教室 ○介護予防教室 ○公民館活動 ○傾聴ボランティア</li><li>○余暇活動 ○ボランティア活動 ○老人クラブ ○おたっしゃサロン</li><li>○認知症カフェ等つどいの場への参加 ○シルバー人材センターで活動</li></ul> |
| 支援体制 | 医療   | <ul style="list-style-type: none"><li>○かかりつけ医 ○かかりつけ歯科医 ○かかりつけ薬局</li><li>○認知症サポート医 ○認知症疾患医療センター ○専門医</li></ul>   |
|      | 権利養護・相談  | <ul style="list-style-type: none"><li>○町の健診 ○こころの相談</li><li>○住民福祉課 ○地域包括支援センター</li><li>○日常生活自立支援事業の利用</li></ul>  |
|      | 生活支援   | <ul style="list-style-type: none"><li>○総合事業 ○見守りSOSネットワーク ○要援護者台帳の登録</li><li>○外出支援バス ○配食サービス ○緊急通報装置 ○買い物支援</li><li>○たすけ隊 ○シルバー人材センター ○認知症サポーターなど</li></ul>        |

## 見守りがあれば日常生活は自立できる

|      |   |   |
|------|---|---|
| 本人   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●集合時間を間違えたり、約束したことを忘れたりする</li> <li>●同じことを何度も聞く</li> <li>●今まで出来ていた料理や掃除などの家事の段取りが悪くなる</li> <li>●火の消し忘れがある</li> <li>●薬を飲み忘れる</li> <li>●物を置いた場所がわからなくなる</li> <li>●同じ物を何度も買ってしまう</li> </ul>  |  <p>物忘れによる失敗や、今まで出来ていたことがだんだん上手く出来なくなり、不安やイライラが多くなってくる</p>   |
|      | <p style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">本人の<br/>気持ち</p>   |   |
| 家族   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●今後の金銭管理について相談する</li> <li>●接し方や介護、医療について勉強しておく</li> <li>●どのような終末期を迎えるか、考えておく</li> <li>●本人の役割をすべてとりあげず、できることはしてもらう</li> </ul>   | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 10px; width: 45%;"> <p><b>見守る人を増やす</b></p> <p>家族だけで支えるのではなく、民生委員や町内会の知人や友人などにも理解を求め、日常生活の中で積極的に見守ってくれる周囲の人の数を増やしましょう。</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 10px; width: 45%;"> <p><b>悪質商法などから守る</b></p> <p>判断能力の衰えなどにつけ込まれて、詐欺や悪質商法などの被害にあう危険があります。成年後見制度を利用するなどして、被害を防ぎましょう。</p> </div> </div> |
| 支援体制 | <p>予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区健康教室 ○介護予防教室 ○公民館活動 ○傾聴ボランティア</li> <li>○余暇活動 ○ボランティア活動 ○老人クラブ ○おたっしゃサロン</li> <li>○認知症カフェ等つどいの場への参加</li> </ul>   |   |
|      | <p>医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○かかりつけ医 ○かかりつけ歯科医 ○かかりつけ薬局</li> <li>○認知症サポート医 ○認知症疾患医療センター ○専門医</li> </ul>   |   |
|      | <p>権利<br/>養護<br/>相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町の健診 ○こころの相談</li> </ul>   |   |
|      | <p>・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民福祉課 ○地域包括支援センター ○介護支援専門員 (ケアマネジ'ヤー)</li> </ul>   |   |
|      | <p>日常生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活自立支援事業の利用 ○成年後見制度の利用</li> </ul>   |   |
|      | <p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○総合事業 ○見守りSOSネットワーク ○要援護者台帳の登録</li> <li>○外出支援バス ○配食サービス ○緊急通報装置 ○買い物支援</li> <li>○たすけ隊 ○シルバー人材センター ○認知症サポーターなど</li> <li>○介護保険サービス</li> <li>在宅サービス：デイサービス、ヘルパー、ショートステイ、小規模多機能型居宅介護など</li> <li>施設サービス：グループホーム、介護付有料老人ホームなど</li> </ul> |   |

## 日常生活に手助けや介護が必要

|      |   |  |
|------|---|--|
| 本人   | <ul style="list-style-type: none"><li>●たびたび道に迷う</li><li>●落ち着きがなくなる</li><li>●季節にあった服が選べない</li><li>●事実と違う話をする</li><li>●トイレの場所を間違えて排泄する</li><li>●買い物やお金の管理にミスが目立つ</li><li>●家電がうまく扱えない</li><li>●すぐにおこる</li><li>●勘違いや誤解が多くなる</li><li>●着替えや入浴などを嫌がる</li><li>●家族や近隣とのトラブルが増える</li></ul>  |    |
|      | <p>本人の気持ち<br/>自分をもっと、よく見てほしい</p>  |  |
| 家族   | <ul style="list-style-type: none"><li>●本人の役割を全てとりあげず、できることはしてもらう</li><li>●本人が失敗しない環境づくりに配慮する</li><li>●介護について困ったことがあれば早めに地域包括支援センターに相談する</li></ul>   | <p><b>接するときのポイント</b><br/>●余裕のある対応<br/>●相手に目線を合わせて<br/>●おだやかで、やさしい口調</p> <p><b>見守り体制を整えよう</b><br/>通い慣れているはずの道などで迷ってしまう危険があります。いつも持ち歩く物や服に名前を書く等、いざという時に備え、見守り体制を整えましょう。</p> |
| 支援体制 | <p>予防</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○余暇活動 ○おたっしゃサロンなど ○認知症カフェ等つどいの場へ</li></ul> <p>医療</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○かかりつけ医 ○かかりつけ歯科医 ○かかりつけ薬局</li><li>○認知症サポート医 ○認知症疾患医療センター ○専門医</li></ul> <p>権利相談・養護</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○住民福祉課 ○地域包括支援センター ○介護支援専門員（ケアマネジャー）</li></ul> <p>生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○介護保険サービス<br/>在宅サービス：デイサービス、ヘルパー、訪問看護、ショートステイ、小規模多機能型居宅介護 住宅改修、福祉用具貸与・購入など</li><li>施設利用：特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホーム、介護付有料老人ホーム など</li><li>○在宅福祉サービス<br/>訪問理美容、布団乾燥、介護用品支給サービス、緊急通報装置</li><li>○見守りSOSネットワーク</li></ul> |  |

## 常に手助けが必要

|      |   |
|------|---|
| 本人   | <ul style="list-style-type: none"><li>歩行が不安定になる</li><li>声かけや介護を拒む</li><li>意思疎通が難しくなる</li><li>尿意や便意を感じにくくなる</li><li>飲み込みが悪くなり、食事介助が必要になる</li><li>表情が乏しくなり言葉が減る</li><li>古い記憶を失う</li><li>言葉が理解できなくなる</li><li>ほぼ寝たきりの状態になる</li></ul>  <p>本人の気持ち 自分らしさを尊重してほしい</p> |
| 家族   | <ul style="list-style-type: none"><li>介護保険サービス等を上手に利用する</li><li>病気が重くなりやすいので、医療機関とこまめなやり取りを心がける</li><li>どのような最期を迎えるか、できるだけ本人の視点に立って家族間で話し合っておく</li><li>介護負担が増えるため悩みを抱え込まず、早めに担当ケアマネジャーや地域包括支援センターに相談する</li></ul> <p>介護する家族の健康・休息も大切に</p>  |
| 支援体制 | 予防<br><ul style="list-style-type: none"><li>○認知症カフェ等つどいの場への参加</li></ul>   |
|      | 医療<br><ul style="list-style-type: none"><li>○かかりつけ医 ○かかりつけ歯科医 ○かかりつけ薬局</li><li>○認知症サポート医 ○認知症疾患医療センター ○専門医</li></ul>  |
|      | 権利相談<br>養護<br>・<br>○こころの相談  |
|      | ○住民福祉課 ○地域包括支援センター ○介護支援専門員（ケアマネジャー）  |
|      | ○成年後見制度の利用<br><br>生活支援<br><ul style="list-style-type: none"><li>○介護保険サービス<br/>在宅サービス：デイサービス、ヘルパー、訪問看護、ショートステイ、<br/>小規模多機能型居宅介護 住宅改修、福祉用具貸与・購入など<br/>施設利用：特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホーム、<br/>介護付有料老人ホーム など</li><li>○在宅福祉サービス<br/>訪問理美容、布団乾燥、介護用品支給サービス</li></ul>  |

〔 原因疾患や身体状況によって経過が異なりますので、この通り経過をたどる訳ではありませんが、今後の介護の目安としてください。 〕